

アカウントビリティ概念と計画論的意義

京都大学大学院
小林 潔司

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

Accountability (アカウントビリティ)

The term **accountability** is used extensively in public administration literature but suffer from imprecise meaning. It is probably best understood in the context of **stewardship**, but it has been developed more recently within the context of performance auditing.

(GASB)

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

Stewardship (スチュワードシップ)

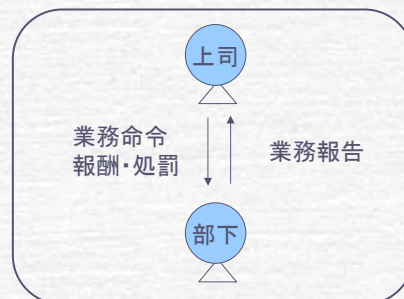
The willingness to be accountable for the well-being of the larger organization by operating in service, rather than in control, of those around us.

(Peter Block)

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

委託－受託関係(アカウンタビリティ)

上司に対して部下が自分の行動の理由を説明すること



<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

公的アカウントビリティの種類

	内的統制	外的統制
自立性低い	階層的アカウントビリティ Hierarchical Accountability	法的アカウントビリティ Legal Accountability
自立性高い	プロフェッショナル アカウントビリティ Professional Accountability	政治的アカウントビリティ Political Accountability

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

アカウントビリティ概念の段階

- ☞ 法的アカウントビリティ
- ☞ プロセス・アカウントビリティ
- ☞ パフォーマンス・アカウントビリティ
- ☞ プログラム・アカウントビリティ
- ☞ 政策アカウントビリティ

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

アカウントビリティ概念

受託者(X)が委託された行為(Z)について
委託者(Y)に説明可能である

X is accountable for Z to Y

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

公的アカウントビリティの複雑性

- ☞ X problem of many hands
- ☞ Y problem of many eyes

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

アカウントビリティの構造

- ✔ 意味の構造(structure of meaning)
- ✔ 正統性の構造(structure of legitimacy)
- ✔ 支配の構造(structure of governance)

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

公的アカウントビリティの機能

- ✔ 民主的コントロールの役割を果たす
- ✔ 行政の誠実性(integrity)を高める上で重要である
- ✔ 行政活動に対する評価を通じて業務改善を促す
- ✔ 行政の正統性(legitimacy)を高める機能を有する
- ✔ 過失を浄化(catharsis)する作用がある

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

意味の構造

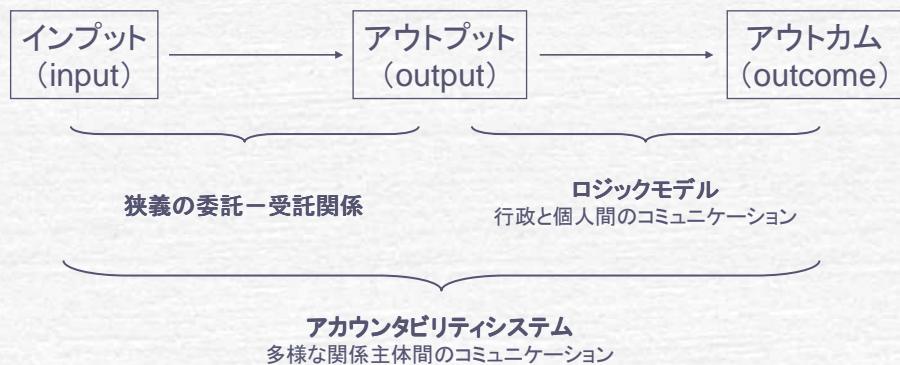
行政と国民の間の言葉、概念、認識体系のずれ

行政・・・社会基盤整備に関わる専門的な用語を用いて
整備内容を認識する

国民・・・社会基盤の利用者, 地域の生活者として, 日常的な用語を用いて認識する

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

行政における業務の流れと各構造 分析のための基本的プロトタイプ



<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

意味の構造

- ☛ インプット、アウトプット、アウトカム
- ☛ 専門家と普通の人とのコミュニケーションをいかに達成するか？
(ロジックモデル)

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

正統性とは

- ☛ 正統性は、ある主体およびその行為を、規範、価値、信念、定義等が社会的に構造化されたシステムのなかで、望ましく妥当であり、あるいは適切であるという一般化された認識

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

正統性の構造

- 利害的正統性(legitimacy of interests)
人々の自己利益になるかどうかに基づく正統性
- 道徳的正統性(legitimacy of morals)
行為が正しいかどうかという評価に基づく正統性
- 認知的正統性(legitimacy of cognition)
文化的に必要性を認識されることに基づく正統性

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

認識正統性の基準

- 理解可能性 (Comprehensibility)
- 当然性 (take-for-grantedness)

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

専門知識の正統性

- ❏ 厳密性 vs 適正性

- ❏ 「であること」vs「であるべきこと」

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

認識的正統性の課題

- ❏ 利害関心の異質性
社会基盤整備に対して多様な利害関係者が多様な認識・要求を有している
- ❏ 硬直性
正統性を付与された主体, 行為は社会システムの中で硬直化, 内化される
- ❏ 敵対性の形成
正統性を付与された主体に対する反対派が存在する

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

支配の構造

委託者(Y)が受託者(X)が行為(Z)を行う
ことに関する期待……………信頼

Krypta特性

Manifesta特性

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

コミュニケーションの困難性

- ☛ 判断に必要な知識をどのように獲得するのか？
- ☛ 誰の言うことを信じるのか？

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

コミュニケーションはいかに可能か？

- ☛ 人はどのような時に他人の言うことを信じるか？
- ☛ 人がなぜそのようなことをいうのかが理解できるときに信じる

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>

信頼形成の制度設計

- ☛ 委託—受託関係
- ☛ Audience(観衆)の前で演じられるゲーム
PFI・PI

<http://psa2.kuciv.kyoto-u.ac.jp/joomlaJP/>